

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成22年3月
砂川市(北海道)

I. ポイント

○計画期間;平成19年8月～平成24年8月(5年1月)

1. 概況

本基本計画の最終目標である商店街活性化のためには、市立病院等集客施設利用者、観光客を積極的に商店街へ回遊させることが重要となることから、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道支部の協力を得て、市立病院および地域交流センター利用者を対象とした商店街に対する意識調査（中心市街地商業活性化診断・サポート事業C型）を実施した。調査結果は、「砂川市出前講座」制度活用により市内8商店会へそれぞれ報告し、消費者ニーズや課題の共有に努めたところである。当該意識調査は平成23年度までの3年間実施予定であり、計画記載事業および商店街独自事業の効果、消費者ニーズの変化等を追跡調査していく。

中心市街地の状況変化としては、商用店舗の閉店などが無い一方、薬局、コンビニエンスストア、老人ホーム、26戸の賃貸マンションなどが入居する薬局複合ビルが4月上旬の開業を予定しており、今後のまちなか居住の促進、さらには賑わいの創出への効果が期待できる。

総事業16事業（うちソフト事業12事業）の進捗状況は、2事業が未着手ではあるものの、3事業（うちソフト事業1事業）が完了、11事業（うちソフト事業11事業）が実施中であり、概ね予定どおりである。数値目標の達成状況をみると事業効果は発現していないものの、中心市街地活性化協議会内に設置されている回遊策検討委員会、商工業関連組織等による中心市街地活性化施策は、本基本計画認定以前と比して活発化しており、今後の経済効果への波及が期待できる。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
賑わいの創出	まちなか平日通行量	3,633人 (H18)	4,400人 (H23fy)	3,228人 (H21fy)	③
まちなか居住の促進	まちなか居住人口	6,052人 (H18)	6,200人 (H23fy)	5,962人 (H21fy)	③
商店街活性化	小売業年間商品販売額	15,738百万円 (H18)	16,200百万円 (H23fy)	15,202百万円 (H21fy)	③

注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

- ①「まちなか平日通行量」は、平成 22 年度における新市立病院の開院、薬局複合ビルの完成により回遊性の向上が見込まれる。
- ②「まちなか居住人口」は、市全体の人口が減少傾向にあるものの、薬局複合ビルに併設される賃貸マンションの入居募集が堅調であることに加え、市立病院改築事業に伴い民間活力によるアパート建設が促進されており、市内人口に占めるまちなか居住割合の増加が見込まれる。
- ③小売業年間商品販売額は、商工会議所主催によるプレミアム商品券発行事業、砂川ポイントカード事業協同組合が発行するポイントカードの利用促進により改善を図る。また、市立病院改築事業により新病棟が平成 22 年 10 月に開院されることから、来院者のまちなか回遊が維持される等、新病院における集客施設としての効果の発現が見込まれる。

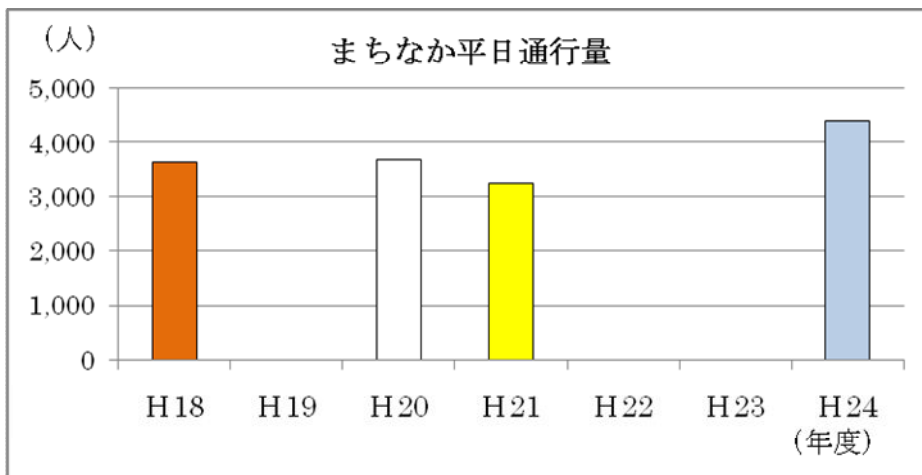
4. 今後の対策

- ・砂川ポイントカード事業協同組合が運営するポイントカードシステムが改修され、ポイント換金機能が向上していることから、商店街における加盟店舗の増加、各種イベントとのタイアップによる利用促進を図る。
- ・地域交流センターにおける平成 21 年度自主事業数は 28 事業、利用者数は約 7 万人であり、集客機能を存分に発揮している。砂川ポイントカード事業協同組合では、地域交流センター自主事業とタイアップしたポイント事業を積極的に実施しているところであるが、今後は、商店会連合会においても集客施設利用者に購買行動を促す取り組みを実施する。
- ・商工会議所主催によるプレミアム商品券発行事業を平成 21 年度に引き続き平成 22 年度においても実施する。
- ・市内で開催される冬季イベント「砂川冬のフェスティバル」における抽選会商品として、商店会連合会加盟店舗で利用可能な商品券を発行する。
- ・商店街に対する消費者ニーズを的確に把握するため、商店街に対する意識調査を継続実施する。調査結果については、中心市街地活性化協議会のみならず市内各商店会へ報告し、課題共有と今後の事業展開の参考資料とする。

II. 目標「賑わいの創出」

「まちなか平日通行量」※目標設定の考え方基本計画 P. 42～P. 51 参照

1. 調査結果の推移



年	単位：人
H18	3,633 (基準年値)
H19	
H20	3,684
H21	3,228
H22	
H23	
H24	4,400 (目標値)

※調査月；平成 21 年 10 月

※調査主体；民間調査会社（緊急雇用創出事業活用による）

※調査対象；歩行者・自転車通行者・平日・11 地点

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市立病院改築事業（砂川市）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	災害拠点病院としての耐震性強化、立体駐車場建設による駐車場不足の解消に加え、診療機能の拡充により北海道中空知地域センター病院として高度医療の充実を図る。
事業効果又は進捗状況	平成 22 年 10 月開院予定。集客機能の充実により、商店街への回遊性を向上できる。平成 22 年 2 月末現在における通院者数は約 23 万人であり、前年度実績を維持している。

②. 砂川市流雪溝管理運営事業（砂川市流雪溝管理運営協議会）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	冬期間における排雪施設として、北海道電力火力発電所から放流される温排水を利用した流雪溝が整備されている。当該施設を沿道住民組織により管理運営する。
事業効果又は進捗状況	冬期間においても安全・良好な歩行空間が確保され、商店街への回遊性を向上できる。

③. 中心市街地活性化ソフト事業（すながわスイートロード協議会・NPO法人ゆう）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	まちづくり事業および文化教育事業等により、市内外消費者を商店街へ誘致するとともに、活動を通じて全市横断的な協力体制を構築する。
事業効果又は進捗状況	集客機能を活用し、商店街への回遊と経済波及効果が得られる。すながわスイートロード協議会主催「スイーツフェスタ」：200人集客、地域交流センターゆう：利用者見込み数約7万人（平成21年度実績）

④. 観光客誘致事業（すながわスイートロード協議会）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	観光ツアーを誘致することにより、当市知名度の向上と市外消費者の獲得を図る。また、観光ボランティアを育成し、地元商店街と観光資源を連携させた新たな魅力創出を目指す。
事業効果又は進捗状況	商店街への回遊と経済波及効果が得られる。北海道新聞社主催「道新ぶんぶんクラブツアー」：13回・延べ513人を誘致（平成21年度実績）

⑤. 中心市街地回遊事業（中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	中心市街地活性化協議会内に設置した回遊策検討委員会が中心となり、集客施設利用者を商店街へ回遊させる事業を展開する。
事業効果又は進捗状況	「中央市場」内への足湯設置、冬季イベントと連携した商品券発行等により商店街の利用増加が図られる。

⑥. 国道一直線花いっぱい運動事業（砂川商店会連合会）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	中心市街地を縦貫する国道12号沿線2.3kmにおける植花事業。国道利用者に賑わいと景観美化を印象づけるとともに、商店会連合会の組織力強化を図る。
事業効果又は進捗状況	商店街の賑わいを創出し、利用者の増加と新規獲得を図る。商店主を中心とする246人によりマリーゴールド8,300株を植花。

⑦. 砂川「もっと花いっぱい運動」事業（砂川「もっと花いっぱい運動」推進協議会）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	中心市街地を縦貫する道道および市道沿線における植花、プランター設置事業。道道・市道利用者に賑わいと景観美化を印象づけるとともに、商業関係者の組織力強化を図る。
事業効果又は進捗状況	商店街の賑わいを創出し、利用者の増加と新規獲得を図る。商店主を中心とする28人によりマリーゴールド1,700株、サルビア1,700株を植花。

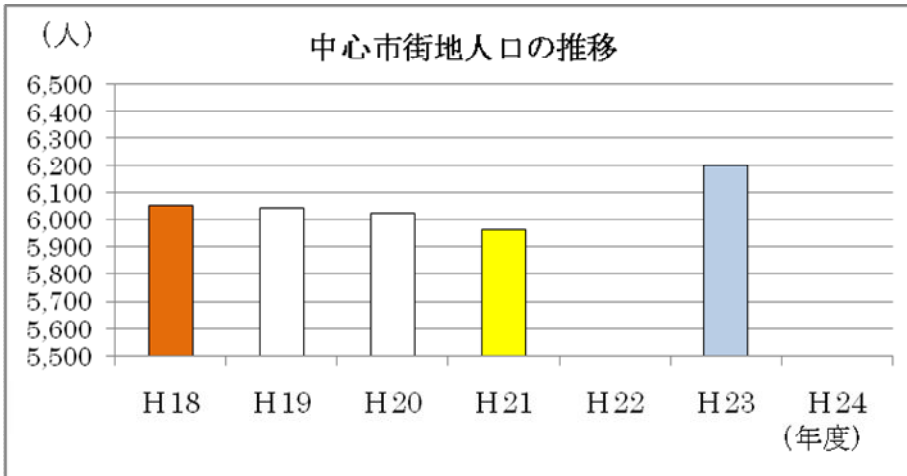
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・新市立病院の開院および薬局複合ビルに併設されるバス待合所の完成を平成 22 年度に控えており、引き続き計画に取り組むことで目標達成は可能である。
- ・観光客誘致事業は平成 18 年度から継続誘致に成功している。観光ツアー以後にリピーターを獲得している店舗もあることから、引き続き事業の実施で目標達成は可能である。

Ⅲ. 目標「まちなか居住の促進」

「まちなか居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P. 52～P. 55 参照

1. 調査結果の推移



年	単位：人
H18	6,052 (基準年値)
H19	6,043
H20	6,022
H21	5,962
H22	
H23	6,200 (目標値)

※調査月；平成 22 年 3 月

※調査主体；砂川市

※調査対象；中心市街地区域における住民基本台帳登録人口

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 南一丁目線拡幅事業（砂川市）

事業完了時期	【未】平成 30 年度
事業概要	東西市街地を最短ルートで結ぶ南 1 丁目線の鉄道高架下部分は、1 車線のため車両交差できず、2.8m の高さ制限のため緊急車両が通過できない。狭小道路を拡幅し住環境と回遊性を向上させるもの。
事業効果又は進捗状況	平成 19 年度に調査測量を実施したが、現在は市議会への事業諮問案提出が凍結されている。着工可となれば東西間の回遊が促進される。

②. 駅東通り改良舗装事業（砂川市）

事業完了時期	【済】平成 19 年度
事業概要	JR 砂川駅東部地区における公営住宅整備、福祉施設移転改築、地域交流拠点施設の移転改築に伴い、道路整備を実施するもの
事業効果又は進捗状況	総延長 600m の道路整備を完了。平成 19 年 11 月 30 日供用開始。

③. 特別養護老人ホーム移転改築事業（社会福祉法人砂川福祉会）

事業完了時期	【済】平成 19 年度
事業概要	市立病院改築地に位置する特別養護老人ホームを JR 砂川駅東部地区に移転改築するもの。一人用個室の整備とユニットケア方式の採用により高齢社会に対応した新施設とする。
事業効果又は進捗状況	100 人入所済み。平成 19 年 6 月 1 日開所。

④. 光ファイバー誘致事業（砂川商工会議所）

事業完了時期	【済】平成19年度
事業概要	次世代通信網である光ファイバーを整備することにより、地域住民の情報受発信システムの高度化を図り、まちなか居住を促進する。
事業効果又は進捗状況	中心市街地区域内の整備を完了。平成19年5月供用開始。

⑤. ハートフル住まいる推進事業（砂川市）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	中心市街地区域における新築住宅の建設または中古住宅の購入等に対する助成事業。中心市街地区域の助成要件を優遇することにより、まちなか居住を促進する。
事業効果又は進捗状況	人口に占めるまちなか居住割合は、平成18年度と平成21年度を比較すると0.5ポイント増加している。平成21年度から当該事業助成優遇区域を中心市街地区域に拡大したことにより、JR砂川駅東部地区における居住者数は2年連続で増加している。

⑥. まちなか居住推進事業（民間施工者）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	市立病院改築事業に伴い、民間活力による病院従事者、市民等を対象とした共同住宅が供給されることにより、まちなか居住を促進する。
事業効果又は進捗状況	市立病院改築現場周辺において、民間施工者により共同住宅が建設されているほか、バスターミナル跡地に薬局、老人ホーム、マンション等の複合施設が建設され、平成22年3月に完成している。

⑦. 砂川市流雪溝管理運営事業【再掲】P.3参照

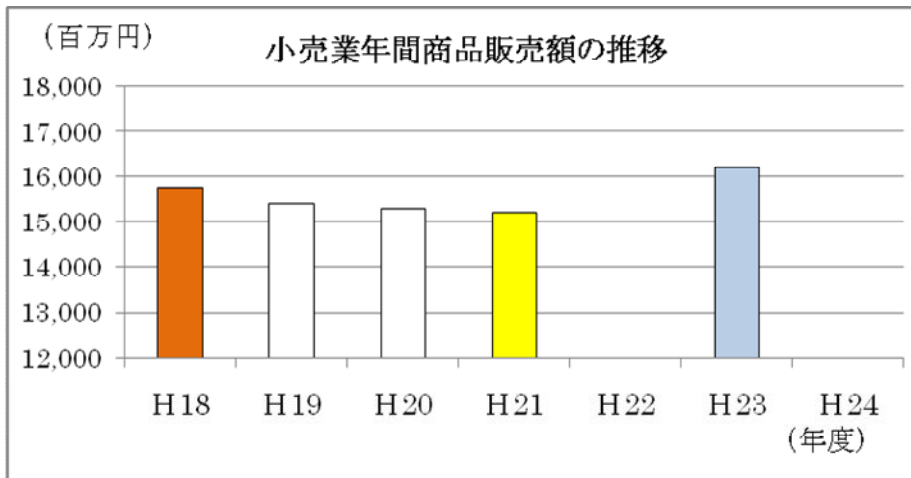
3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- 市全体の人口は年々減少しているが、ハートフル住まいる推進事業およびJR砂川駅東部地区における住環境整備により、まちなか居住割合は増加傾向にある。
- 官民協働により設立された「すながわ移住定住促進協議会」により、団塊世代を中心とした移住・定住施策を展開している。平成21年度から実施している「おためし暮らし」と称する短期間体験移住制度は利用者から好評を得ており、利用申込みも堅調であることから、引き続き計画に取り組むことで目標達成は可能である。

IV. 目標「商店街活性化」

「小売業年間商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P. 56～P. 61 参照

1. 調査結果の推移



年	単位：百万円
H18	15,738 (基準年値)
H19	15,392
H20	15,282
H21	15,202
H22	
H23	16,200 (目標値)

※調査月；平成 22 年 3 月

※調査主体；砂川市

※調査対象；平成 19 年商業統計の中心市街地区域内に立地する大型 3 店舗（コープさっぽろ、Aコープ新砂川、アシル砂川スーパーふじ）分担率（38.68%）による推計値

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 市立病院改築事業「【再掲】P. 3 参照」
- ②. 中心市街地活性化ソフト事業「【再掲】P. 4 参照」
- ③. 観光客誘致事業「【再掲】P. 4 参照」
- ④. 中心市街地回遊事業「【再掲】P. 4 参照」
- ⑤. 中小企業等振興補助事業（砂川市）

事業完了時期	【実施中】継続実施
事業概要	中心市街地に包括される商業地域・近隣商業地域における店舗の建設費等の一部を補助することにより、空き店舗の解消と起業支援を図る。
事業効果又は進捗状況	平成 20 年度における空き店舗改装事業の実績はないが、新規出店を促すことにより商店街の魅力を向上し、利用率と売上の増加を図る。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・砂川ポイントカード事業協同組合が運営するポイントカードシステムが改修され、換金機能が向上していることから、商店街における加盟店舗の増加、各種イベントとのタイアップによる利用促進を図る。
- ・商工会議所主催によるプレミアム商品券発行事業を平成 22 年度においても実施する。
- ・市内で開催される冬季イベント「砂川冬のフェスティバル」における抽選会商品として、商店会連合会加盟店舗で利用可能な商品券を発行する。